



録画を配信

共同作業への負担、どう捉えるか

町長 どうしたら維持できるか、地域の中で検討すべき



佐々木誠司議員

人口減少による 地域の課題

地域の共同作業

問 受益者負担、住民の努力で行われる地域での共同作業。高齢化などで大きな負担となっている現状をどう捉えているか。

町長 行政が行った場合、財政負担に耐えられるかを考える必要がある。どうしたらコミュニティを大切に、共同作業なども維持できるかを、地域の中で検討していくべきと認識している。

配布物を郵送に

問 地域の負担軽減として、各家庭への配布物を全世帯に郵送することは検討できないか。

町長 配布作業は一つのコミュニティとして地域での見守りにもなる。どうしても地域的にできないとなれば考えざるを得ないが、今後とも理解を得ながら、同じような形態で取り組むべきと認識している。

町内等の統合、再編

問 今後、区や町内等の統合や再編を検討する声が出た場合、町としての関わり方は。



毎年土砂でいっぱいになる

総務課長

現在、再編等に向けた動きは把握していないが、相談があった場合は、地域の実情を踏まえながら地域主体で検討をいただき、その中で町としての支援体制などを考えていく必要がある。

役職の成り手不足

問 区長や町内長等の成り手不足をどう捉えているか。

町長 地域で生きていく中で、さまざまな役割を分担しながら課題

空き家対策

特定空き家への措置

に取り組むことが必要ではないかと思っている。皆さんのお力で地域を何とか大事にしていくよう頑張っていただきたくお願いしたい。

問

適切な管理が行われていない空き家に対する具体的な措置は。

建設課長 町の対策計画に基づき、5年度末までに19件の助言・指

導の対応を行っている。撤去などの命令や執行の措置までは実施していない。

問

空き家対策ネットワーク協議会による空き家管理サービスの利用状況と、利用に向けた啓発は。

建設課長 これまで4件の利用があったと聞いている。空き家の適正管理については町報や文書の送付でもお願いしており、管理サービスの利用についても、あわせて町報でお知らせをしている。

私もひとこと

人がいないなら、いらないのやり方や、方法を考えなければいけないと思う。
(60代男性)